

宝塚大学次世代メディア芸術人材育成プロジェクト

(NAPP | Neo Animator & Producer Project)

次世代プロデュース人材育成プログラム

カリキュラム

2026 年 11 月～2027 年 2 月



第一版 2026 年 9 月 1 日

発行元 宝塚大学メディア芸術先端教育開発センター東京

0. 目次

1. プロジェクトの概要		3
2. 本講座の概要		4
>各科目の内容		
>担当講師		
3. 問い合わせ		8
4. 関連リンク		8

1. プロジェクトの概要

「次世代メディア芸術人材育成プロジェクト（NAPP | Neo Animator & Producer Project）」は、日本のメディア芸術とコンテンツ産業の未来を担う、国際的に活躍できる次世代のクリエイターおよびプロデューサーを育成するための教育プログラムの開発・実装を目的とし、文化庁によって独立行政法人日本芸術文化振興会に設置された「クリエイター支援基金」（文化芸術活動基盤強化基金・令和6年度補正予算事業）（アニメ分野）による助成を受けて宝塚大学が実施するものです。

私たちは日本の「アニメ」を世界との“結節点”と捉え、国際展開および初中等教育との連携を進めています。国内外の有識者や産業界と連携しながら、翻訳・ローカライズ・国際広報・市場戦略などの知識や実践力を涵養することでクリエイターとプロデューサーが協働して作品創造とその国際的な展開を同時に学ぶ教育モデルの構築を目指します。さらに探求学習の支援を通じて初中等教育と連携し、人が持つ創造力をあらゆる世代の社会的資源として創造力を活用できる持続的な人材育成体制の構築に取り組みます。

また、本プロジェクトは完成された教育プログラムを一方的に提供するものではなく、受講者や関係者とともに新たな学びや実践の機会を創り上げていくことを重視しています。本講座を通じて得られた知見やネットワークを活かしながら、将来的には国内外の関係者との連携や新たなプロジェクトの企画・実践などへ発展していくことを期待しています。受講者には、与えられた知識を学ぶだけでなく、多様な立場の人々との協働を通じて、新たな価値や可能性をともに創出していくことを期待します。

2. 本講座の概要

>各科目の内容

「次世代プロデュース人材育成プログラム」は以下の **8** つの科目から構成され、以下の通りの開講日程を予定しています。※担当講師の掲載順は順不同です。

【1】2026 年 11 月 6 日（金）

科目名	： コンテンツのいま
担当講師	： 落合早苗、refeia、岩澤駿
【授業概要】 いまの日本では、アニメ映像だけでも年間 2000 時間以上が制作されている。マンガ、イラスト、ゲーム、VTuber 等々、日本のコンテンツのすべてを知悉することが物理的に不可能なのはもちろん、概況を把握することすら難しい。新たな技術の登場や社会変化によって、メディアのあり方もコンテンツの中身も変化し、多様化し続けている。そんな現在、いま我々はどこからコンテンツを考えればいいのか。	

【2】2026 年 11 月 20 日（金）

科目名	： マーケティング
担当講師	： 柏木豊、里見直紀
【授業概要】 クリエイターは作品を制作することに全精力を傾ける。しかし、それをどう適切な受け手に送り届け、マネタイズし、継続させ、多くの世代や国、地域へと広げ、生活や社会に溶け込ませていくのか。宣伝・広報、ファンコミュニティの形成、ブランドや IP の展開など、コンテンツ産業に特徴的な事例を通じて、表現が「作られた後」のために何が行われているのか、何をしなければならないのかを考える。	

【3】2026 年 12 月 4 日（金）

科目名	： ファイナンス
担当講師	： 柏木豊、松本淳
【授業概要】 制作費や収益の構造、資金調達、投資と回収、リスクとリターン……といった IP 事業の言葉を聞かせると、なぜか多くの学生が興味を失って授業中に寝る。しかし、アートやコンテンツでどうやってお金を稼げばいいのかというのは、重要な問いに決まっている。多くの人はコンテンツではお金が稼げないからだ。だからこそ、いま稼げている人が、どこで、誰から、どうやってお金を得ているのかについて理解を深めたい。	

【4】2026年12月18日（金）

科目名　：　法務
担当講師：　境真良、小山紘一
【授業概要】 著作権や知的財産については、往々にして「パクってはいけない」といった道德の問題に落とし込んだ学校教育がなされてきた。だから法務はつまらないと思われがちだが、法務ほどクリエイティブな学問ジャンルはないかもしれない。多くの人が何かを作る社会は、著作権だけでなく、契約、人格権、労働、取引など、様々な法律を組み上げた「法」という有機体の上で成立している。我々の創作を支えている制度への理解を深めたい。

【5】2027年1月15日（金）

科目名　：　パブリックリレーションズ
担当講師：　里見直紀、荻野幸太郎、小山紘一、境真良
【授業概要】 パブリックリレーションズ、略してPRは、往々にして広告のことだと思われている。しかし、PRは広告ではない。例えば、性や暴力、病気や障害、宗教などを扱った表現は、しばしば社会的な批判や摩擦を引き起こす。どうすればそうした摩擦を減らし、作品と社会との関係を築いていけるのか。それもまた、コンテンツを作り、プロデュースする側の問いである。現在「PR」として何が行われているのか、その実践から理解を深めたい。

【6】2027年1月29日（金）

科目名　：　国際展開
担当講師：　兼光ダニエル真、松谷創一郎
【授業概要】 日本のコンテンツは世界で大人気なのか？　という問いへの答えはYesでもあり、Noでもある。日本のアニメやマンガやゲームをAIで逐語訳したところで、それだけでは面白くならない。翻訳やローカライズは逐語訳とどう異なるのか。そして、それをどうプロモーションし、現地のパートナーを探し、ビジネスとして儲かるところまで持っていくのか。翻訳や配信の具体的な事例から、日本のコンテンツを世界へ広げていく未来の可能性を探りたい。

【7】 2027 年 2 月 19 日（金）

科目名　：　マネジメント
担当講師：　柏木豊、岩澤駿
【授業概要】 「作家は締切を守れない」というのは、もはや伝統的なステレオタイプですらあるが、実のところ商業作家は必ず締切を守り、編集者や校正者やデザイナーへ仕事を渡す。これが基本のマネジメントである。アニメやゲームはもちろん、作家性の強いマンガや同人誌ですら、完全に一人で黙々と作業して出来上がるものはない。しかし、誰かと組めば意思決定やコミュニケーションに時間がかかり、役割分担や報酬で揉め、ハラスメントやメンタルヘルスなど、様々な問題も加速度的に増えていく。他人と一緒に何かを作るとき、どのような課題が生じ、それをどう解決していけばいいのか。

【8】 2027 年 2 月 26 日（金）

科目名　：　コンテンツプロデュース概論
担当講師：　中川譲　ほか
【授業概要】 我々がコンテンツを作り続け、世界へ広げていくためには何が必要なのだろうか。マーケティング、ファイナンス、法務、PR、国際展開、マネジメントといったこれまで取り上げてきた課題に加え、企画、制作、資金調達、権利処理、流通、宣伝——コンテンツを世に出そうとすれば、課題は次々に現れ常にトラブルが起きる。反語的だが、作家は作品を作るだけでは、作品を作り続けることはできない。日本がコンテンツを作り続けられる世界とはどのようなものなのか、未だ捉えきれていない視点から考える。

※会場　宝塚大学東京新宿キャンパス（〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-11-1）101 教室
※時間　18:20～19:50

>担当講師

【全体モデレーター】

中川 譲 宝塚大学東京メディア芸術学部 特任教授
※各回の進行・コーディネートを担当

【1】コンテンツのいま

落合 早苗 O2O Book Biz 株式会社 代表取締役
refeia イラストレーター
岩澤 駿 株式会社スタジオポノック

【2】マーケティング

柏木 豊 株式会社 UKIYO 代表取締役
里見 直紀 コミケット／広報担当

【3】ファイナンス

柏木 豊 株式会社 UKIYO 代表取締役
松本 淳 ジャーナリスト／研究者（専修大学文学部ジャーナリズム学科 教授）

【4】法務

境 真良 国際大学 GLOCOM 客員研究員
小山 紘一 骨董通り法律事務所弁護士／参議院議員山田太郎事務所 政策担当秘書

【5】パブリックリレーションズ

里見 直紀 コミケット／広報担当
荻野 幸太郎 特定非営利活動法人うぐいすりボン／理事
小山 紘一 骨董通り法律事務所弁護士／参議院議員山田太郎事務所 政策担当秘書
境 真良 国際大学 GLOCOM 客員研究員

【6】国際展開

兼光ダニエル真 翻訳家・国際オタクイベント協会事務局筆頭渉外／北米局長
松谷 創一郎 ジャーナリスト

【7】マネジメント

柏木 豊 株式会社 UKIYO 代表取締役
岩澤 駿 株式会社スタジオポノック

【8】コンテンツプロデュース概論

中川 譲 宝塚大学東京メディア芸術学部 特任教授

3. 問い合わせ

選考および受講に際して合理的配慮が必要な場合、また不明点等がある場合は、下記のメールアドレスにお問い合わせください。件名は「NAPP 公開講座 選考関連」としてください。

宝塚大学 メディア芸術先端教育開発センター事務室

東京新宿キャンパス

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-11-1

TEL:03-3367-3411

FAX:03-3367-6761

Email:t-mact@takara-univ.ac.jp

※学校法人宝塚大学では合否情報に関してのお問い合わせには応じません。

※返信まで数日時間を要する場合があります。

4. 関連リンク

宝塚大学メディア芸術先端教育センターWeb サイト：<https://tmact.jp/>

本事業は、文化芸術活動基盤強化基金「クリエイター等支援事業（育成プログラム構築・実践）」による助成を受けて実施しています

